

徳島県における特定健診の実施率向上に向けた取組 ＜市町村・県における取組＞

（１）市町村国保の取組（取組事例を抜粋して記載）

①若年者健診

- 特定健診対象前の世代に健診を受診する習慣を付けていただき、自身の健康に関心を持っていただくため、特定健診と同じ項目の健診を自己負担無料で受けていただくなど、「若年者健診」を実施。
- 乳幼児健診の場で保護者を対象に受診勧奨するなど、周知において工夫している。

②自己負担額の無料化，情報提供事業（みなし健診）の取組

- 継続受診者への自己負担額の無料化や、未受診者のAI分析による個人の健康意識に合わせた受診勧奨媒体を活用した通知事業を実施。
- 受診勧奨訪問を年度当初から実施することにより、治療中の方については本人同意の上で、医療機関から情報提供を受けられる体制を整備。

③企業訪問による受診勧奨及び特定健診情報の提供依頼

- 臨時雇用等の従業員で市町村国保の方に対し、市町村が企業訪問を行い、企業からの更なる受診勧奨や企業健診結果の提供を依頼。

（２）県の取組

①特定健診受診率向上のための研修会等の取組

- ソーシャルマーケティングを取り入れた特定健診受診率向上のための、啓発資材等への工夫について、市町村担当者を対象に研修会を実施。
- 取組事例の情報共有や、働き盛り世代への受診勧奨のためのリーフレットを作成。
- 医療機関で治療中の方で、情報提供事業（みなし健診）の対象となる方を把握しやすくするため、抽出ツールを作成。

②スマホアプリを活用した健康ポイント事業

- ウォーキング等の健康行動の促進に合わせて、特定健診受診においてもポイントを付与し、各保険者が事務局機能を利用できるよう、システム構築を行うことにより、時期を捉えた受診勧奨のメッセージ配信に活用。

③市町村がん検診と被用者保険特定健診の同時実施への支援

- 市町村がん検診日程を県から協会けんぽに情報提供し、被保険者への啓発・受診勧奨に活用いただいている。